

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル  
 ■会長/山本 郁矢 ■幹事/入谷 直行 ■会報・雑誌・広報委員長/細井 俊男  
 ■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号  
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために  
 2011-2012年度 RI 会長 カルヤン・パネルジー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail [info@meinan-rotary.com](mailto:info@meinan-rotary.com)

## 第987回

2012年1月31日(火) 晴 第28回

～ ローター理解推進月間～

斉唱 四つのテスト  
 出席 会員63名(出席率算入人数57名)  
 出席48名 出席率84.21%  
 前々回補填率92.86%(1月17日分)  
 ゲスト 法修会 会長 武居 範導さん  
 ビジター 尾張旭RC 舟橋 龍秀さん  
 名古屋西RC 松山 吉之さん

### 会長あいさつ

会長 山本 郁矢さん

皆様、こんばんは。

今日は、遙々と武居先生が卓話に来ていただきまして、ありがとうございます。

また、尾張旭RCの舟橋さん、何度も我々のクラブに顔を出していただき、私も顔なじみにさせていただいております。今日もごゆっくりとお寛ぎいただければと思います。

また、本年最初のゆったり例会に色々とお骨折りいただきまして、西RCの松山閣の松山さん、ありがとうございます。ごゆっくりお寛ぎいただければと思います。

さて、皆様の中には、手相・家相という事に興味深い方も大勢いらっしゃると思いますが、一方で全く無関心という方もいらっしゃるかも知れません。今日は本も1冊ずつお持ちいただき、別の機会にしっかりと読んでいただきたいと思います。

墓相を若くして研究されておるという事で、私も墓相とは何だろうと、またどんな研究をされているのだろうと、興味深く思っておる次第です。その研究の中で、家運という事を皆様にお話いただけるという事でございますので、ゆっくりと楽しみに聞かせていただこうと思っております。

### 幹事報告

副幹事 坂本 晃さん

1. 次回例会は、東南RCがホストクラブの4RC合同例会となりまして、8日(水)の18時～となります。会場はタワーズボールルームとなりますので、宜しくお願いいたします。
2. 海外出張届けが出ております。東山直史さんが

ニューヨーク・ボストンへ、2月3日～9日。杉山隆秀さんがアメリカへ、2月9日～17日までです。

### ニコボックス

- ◆ 本日は、法修会 会長 武居範導様による外部卓話です。よろしく願います。

川瀬 悟さん 坂田 信子さん 宮崎 良一さん  
 田中 省三さん 中村 勝さん 野々村憲吾さん  
 犬飼りさ枝さん 本多 利郎さん 林 隆二さん  
 出田真太郎さん 伊藤 圭一さん 鈴井 一博さん  
 東山 直史さん 森田敏二三さん 坂本 晃さん  
 伊藤 博昭さん 杉山 隆秀さん 山本 誠一さん  
 新原 尚さん 加藤 英敏さん 白銀 義昭さん  
 江上 隆夫さん 白藤 憲雄さん 山本 郁矢さん  
 久米 伸治さん 安藤 修さん 細井 俊男さん  
 長尾 浅吉さん 田中 一雄さん 中西 芳子さん  
 大平 明子さん 武藤 正行さん 三浦 和人さん  
 宮本 浩史さん 黒田 康正さん 猪村 美之さん  
 有川 英敏さん

- ◆ 先日は、ご来店頂き誠に有難うございました。  
 名古屋西RC 松山 吉之さん

本日合計 47,000円 累計 917,000円

### 委員会報告

- ローター財団委員会 委員長 東山 直史さん  
 ベネファクターとは、ロータリー財団恒久基金へ1,000ドル以上、条件無くして寄付した方を言います。  
 マルチプルポールハリスフェローは、ポールハリスフェローの1,000ドルをクリアされ、更に1000ドルずつ寄付した方へ与えられる称号です。



ロータリー財団寄付認証者

- ・ベネファクター 山本 郁矢さん
- ・マルチプルポールハリスフェロー  
三島多恵子さん 木下 福郎さん  
木村 猛さん 杉本 勇さん
- ・ポールハリスフェロー  
江上 隆夫さん 牧野 好弘さん  
安藤 修さん 出田真太郎さん  
川瀬 悟さん 大平 明子さん  
江松 央統さん

## アンチエイジングエクササイズ

■環境保全・保健問題委員会 委員長 中村 勝さん

## 外部卓話

■法修会 会長 武居 範導氏

皆様、こんばんは。

ただ今紹介に預かりました、武居範導です。本日は、このような機会を頂き、大変恐縮であると同時に大変光栄な事と思っております。

今のようなご時世、天変地異も含め、大変不確かな時であります。

皆様、運が強い方ばかりだと思えますが、さらに運が強くなり、21世紀のリーダーになって頂きたく講演させていただきます。

新年冒頭においてお墓の話が出てしまいますが、何卒お許し願うと同時に、研究の中で分かった「家系と運」を上げる極意をお伝えしていきたいと思えます。

まず始めに、私のしている墓相研究・指導についてお話しさせていただきます。

墓相研究とは、墓地の地質・石質・方位・石碑の寸法・建て方・立地等の調査、並びに統計を取り、家系の実情と照らし合わせ、ひとつの統計を導き出す事にあります。

その統計を基に、各家庭のあるべきお墓の在り方を指導させて頂いております。

これらの研究は中国から日本に伝わり、正式に資料として残っているのが、文政年間・今から195年前ですが、高田氏からです。そこから弟子の西岡氏、弟子の大浦氏、その弟子の多田通幽氏、その弟子の松崎整道氏、そのまた弟子の竹谷聡進氏、二代目竹谷聡進氏・師である武居敬祐、そして私となります。

この研究の結果、家系と運はお墓の在り方に起因する事が分かってきました。

その中で、運には福祿寿があることが判明しました。

まずは福。これは、子孫運・相続運を示します。次に祿。これは金運、財運とも仕事運とも言います。次に寿。これは健康運です。

なぜこれらが言えるのかといいますと、研究の中で、お墓は3段が基本であり、その3段が福祿寿を示していることが分かったからです。今日お渡ししました私の本で言うと62ページ。暦でいうと31ページになります。ちなみに、下台が福、つまり子孫運を示す一部です。

生きていくにおいて悩みは付き物ですが、この悩みは全て福祿寿に関して起きるものです。つまり、

運も悩みも同じ。ゆえにお墓は家系と運を示すと同時に、家の根という事が出来ます。

その証拠に、良い形・良い相・良い建て方・良い祭り方をされている家は、家運が良くなっている現実があります。写真は、松崎整道先生が建てられた豊田家のお墓と、石原慎太郎家のお墓です。

次に運についてお話しさせていただきます。

運には家系からくる運、(これを先天運・家系因縁とも言います)。それと、自己からくる運、(これは後天運・自己因縁とも言います。)の2種類に分けられます。

この先天運・家系因縁とは、生まれる前から決まっている運です。つまり、父母・先祖の生き様・陰徳行為で決まってしまう運です。

後天運・自己因縁は、自己の努力・生き方で決まる運です。

言い換えると、自己因縁が家系因縁に移行するため、各自が陰徳積みを行うことで、各自の運並びに家系の運を強くすることができます。

徳には陽徳と陰徳があります。陽徳は名を出して行う徳。陰徳は、世の為・人の為になる事を、名前を出さずにする行為です。兄弟や特定の人を喜ばす事ではありません。

ですから、陰徳の精神を持って頂き実践すれば運そのものは強くできるのです。

ロータリークラブの皆様は様々な事業をされていますので、今回は会社の運についてもお話しさせて頂きたいと思えます。

会社は生き物ですから、会社にも運が必要です。

会社には、金運つまり事業運と子孫運・相続運とも言います。それと、縁を結びつける運が必要です。この3つの運の象徴が会社墓です。ちなみに写真はキャノンさんの会社墓です。

多くの方は知りませんが、会社として従業員や取引先、世話方やお客様等、関係各位とのご縁に感謝すると同時に、会社としての物故者法要に場として建立されています。こちらは小松製作所さんの会社墓です。

これらの会社墓は年1~2回、会長・社長・役員を中心に参拝されています。不思議と、会社墓を持ち、参拝されている企業・会社は社会的地位を持つようになっています。

ただし調査してみると、ファミリー企業・会社に多いのですが、家庭のお墓と会社墓を一緒のされている場合がありますが、これは信用・発展の妨げになっております。また、会社の敷地内に建立も良くありません。

土地の大きさは従業員の数・取引先で変わります



ので、大きければ良いという訳ではありません。

以上の話をまとめますと、運を高める秘訣は、感謝の気持ちを形・つまりお墓を整え、陰徳の精神を持って、世の為・人の為に貢献することにあります。ただし、積み重ねが基本になります。

また、自己の運を上げるのは、物事の考え方・捉え方・言動の注意・感謝の実践、つまり陰徳積みで、今からでも変わるものです。

この陰徳積みの結果は、まず自分に来て、自分で消化しきれない徳が子孫に表れます。ですから、良い家系因縁はさらに伸ばす気持ちを持って頂き、陰徳積みでさらに増強させるように意識して頂きたいと思います。

逆に、嬉しくない家系因縁は、陰徳積みをされながら、その象徴であるお墓を見直して頂き、新しい根作り及び根を締め直す行動を起こして頂きたいと思います。

ロータリークラブは親睦と奉仕の精神がモットーであるとお聞きしました。陰徳積みの精神にも似た事で大変嬉しく思いますし、日本人として誇りに思います。

家系を高め、自己を高め、会社を高める究極の運を得るには、共存共栄が基本ではありますが、共存と言うより、相手を先に生かし、そして自らも生きていく考えを持ち、ロータリークラブの皆様の様に実践していくことがとても大切なことです。そして、運をさらに強くし、21世紀のリーダーになって世をけん引して頂きたいと思っております。

山本会長はじめ名南ロータリーの皆様、本日は誠にありがとうございました。

#### 第 989 回例会 (2月14日) のご案内

クラブフォーラム

「I.M. について」